

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 研創  
 コード番号 7939 URL <http://www.kensoh.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 浦上 忠久  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月6日

TEL 082-840-1000

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	830	△20.0	△127	—	△132	—	△158	—
20年3月期第1四半期	1,037	—	△7	—	△15	—	△21	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△39.72	—
20年3月期第1四半期	△5.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	5,875	1,033	17.6	258.35
20年3月期	6,252	1,200	19.2	300.18

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,033百万円 20年3月期 1,200百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	0.00	0.00	0.00	5.00	5.00
21年3月期	0.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	0.00	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,921	△16.6	△155	—	△166	—	△191	—	△47.76
通期	4,500	△6.8	52	—	36	—	5	—	1.25

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】の3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】の4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 4,022,774株 20年3月期 4,022,774株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 23,467株 20年3月期 23,367株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 3,999,357株 20年3月期第1四半期 3,999,457株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月23日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的な修正内容は、2ページ【定性的情報・財務諸表】3連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に伴い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における国内経済は、収束の兆しが一向に見られない原油をはじめとする原材料価格の高騰に加え、米国サブプライムローン問題の影響による世界的な株価下落や円高等により、景気の減速懸念が一層強まった状況でありました。

中でも、当社が受注の拠り所としておりますビル建築業界におきましては、鉄鋼価格の高騰によるビル建築の中止、延期等が多くみられ、ビルに付帯するサインの需要も著しく減少し、厳しい受注環境が続いております。

このような環境の中、当社は採算重視と厳格な与信・債権管理を念頭に置きながら、攻撃型営業を推進し、収益確保に取り組んでまいりました。

しかしながら上述のごとく景気減速の中でのサイン需要減少を克服することができず当初予想の売上・利益を確保することができませんでした。

この結果、売上高は8億30百万円、営業損失は1億27百万円、経常損失は1億32百万円、四半期純損失は1億58百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、5,875百万円となり、前連結会計年度末比377百万円の減少となりました。

その主な要因は売上債権が379百万円減少したことによるものであります。

なお、純資産は1,033百万円となり、自己資本比率は17.59%と前連結会計年度末に比べ1.61%悪化しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は149百万円となり、前連結会計年度に比べ9百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュフロー)

当第1四半期連結会計期間の営業活動の結果得られた資金は237百万円となりました。主な要因は売上債権が379百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュフロー)

当第1四半期連結会計期間の投資活動の結果使用した資金は134百万円となりました。主な要因は固定資産の取得による支出が130百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュフロー)

当第1連結会計期間の財務活動によって支出した資金は93百万円となりました。主な要因は借入金の純減額が76百万円あったことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当業界の受注の拠り所であるビル建築業界は、一向に収束の兆しが見られない鉄鋼価格の高騰と金融市場における信用収縮による不動産業界の不振の影響で、しばらくはこの厳しい経営環境が継続するものと思われま

す。当社グループは、こうした予測の下ではありますが、営業の量（訪問回数）と質（提案営業）の向上を図り、且つ新製品も多種投入し、積極的営業に取り組んでまいります。

また、他部門におきましても効率的人員配置、生産性の向上、経費節減に努め着実に収益をつみあげてまい

る所存であります。以上により、現時点での平成21年3月期の業績予想につきましては、売上高45億円、営業利益52百万円、経常利益36百万円、当期純利益5百万円を見込んでおります。

なお、詳細につきましては、本日付で発表しました業績予想の修正に関するお知らせをご覧ください。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これによる影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	293,442	288,887
受取手形及び売掛金	1,308,713	1,688,102
製品	45,598	40,462
原材料	93,604	99,636
仕掛品	40,358	42,856
その他	83,072	66,181
貸倒引当金	△4,745	△5,638
流動資産合計	1,860,044	2,220,487
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,292,021	1,306,944
土地	1,669,818	1,669,818
その他	496,826	493,789
有形固定資産合計	3,458,667	3,470,552
無形固定資産	13,978	14,739
投資その他の資産		
投資有価証券	363,587	352,580
その他	202,253	202,491
貸倒引当金	△23,383	△8,307
投資その他の資産合計	542,457	546,765
固定資産合計	4,015,103	4,032,057
資産合計	5,875,147	6,252,545
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	795,703	918,586
短期借入金	1,538,006	1,788,744
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,473	6,352
賞与引当金	91,453	53,401
役員賞与引当金	2,725	—
その他	310,995	298,673
流動負債合計	2,751,356	3,075,758
固定負債		
長期借入金	1,669,441	1,495,689
退職給付引当金	94,396	156,693
役員退職慰労引当金	315,341	310,762
その他	11,383	13,116
固定負債合計	2,090,562	1,976,261

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債合計	4,841,918	5,052,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	944,637	944,637
資本剰余金	264,930	264,930
利益剰余金	△138,012	40,851
自己株式	△8,036	△8,006
株主資本合計	1,063,519	1,242,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,290	△41,887
評価・換算差額等合計	△30,290	△41,887
純資産合計	1,033,228	1,200,525
負債純資産合計	5,875,147	6,252,545

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	830,347
売上原価	599,453
売上総利益	230,894
販売費及び一般管理費	358,314
営業損失(△)	△127,420
営業外収益	
受取利息	2,742
受取配当金	2,588
受取地代家賃	507
その他	2,382
営業外収益合計	8,220
営業外費用	
支払利息	13,387
その他	406
営業外費用合計	13,793
経常損失(△)	△132,994
特別利益	
固定資産売却益	2,210
償却債権取立益	438
特別利益合計	2,649
特別損失	
固定資産売却損	6,028
特別損失合計	6,028
税金等調整前四半期純損失(△)	△136,372
法人税、住民税及び事業税	3,945
法人税等調整額	18,546
法人税等合計	22,492
四半期純損失(△)	△158,865

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△136,372
減価償却費	34,503
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14,182
賞与引当金の増減額 (△は減少)	38,052
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,725
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△62,296
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,578
受取利息及び受取配当金	△5,330
支払利息	13,387
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,817
売上債権の増減額 (△は増加)	379,388
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,929
仕入債務の増減額 (△は減少)	△122,883
その他の資産の増減額 (△は増加)	△34,553
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	116,614
小計	252,742
利息及び配当金の受取額	4,636
利息の支払額	△15,098
法人税等の支払額	△5,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	241,000
定期預金の払戻による収入	△236,000
有形固定資産の取得による支出	△130,448
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	△13,250
貸付金の回収による収入	4,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△250,738
長期借入れによる収入	458,400
長期借入金の返済による支出	△284,648
長期未払金の返済による支出	△1,733
自己株式の取得による支出	△30
配当金の支払額	△14,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,222
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,555
現金及び現金同等物の期首残高	139,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	149,442

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

サイン事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

海外売上がないため該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,037,897
II 売上原価	727,005
売上総利益	310,891
III 販売費及び一般管理費	318,713
営業損失(△)	△7,822
IV 営業外収益	6,131
V 営業外費用	13,588
経常損失(△)	△15,278
VI 特別利益	2,233
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,044
税金費用	8,453
四半期純損失(△)	△21,498

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,044
減価償却費	30,363
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△848
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,549
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,725
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,323
受取利息及び受取配当金	△4,008
支払利息	13,368
売上債権の増減額(△は増加)	279,640
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,233
仕入債務の増減額(△は減少)	20,656
その他資産の増減額(△は増加)	1,964
その他負債の増減額(△は減少)	△87,931
小計	224,523
利息及び配当金の受取額	4,008
利息の支払額	△10,277
法人税の支払額	△40,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,868
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入れによる支出	△76,000
定期預金の払戻しによる収入	18,000
有形固定資産の取得による支出	△14,887
敷金・保証金の増減額(△は増加)	△14,016
貸付けによる支出	△4,264
貸付金の回収による収入	826
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,342
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の増減額(△は減少)	30,000
長期借入金の返済による支出	△265,592
長期未払金の返済による支出	△7,603
自己株式の取得による支出	△62
配当金の支払による支出	△32,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,415
現金及び現金同等物の増加額(△は減少)	△187,890
現金及び現金同等物の期首残高	553,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	366,091